



宿舎で兵庫大会の映像を見て、市尼崎を分析する光里ナイン=5日、大阪府吹田市

光里 対戦校を分析

打撃練習では鋭い当たり

第98回全国高校野球選手(兵庫)との対戦が決まった。豊中市の豊島高グラウンドで対戦の試合の映像を見て、相手を分析する市尼崎のナインは5日、大阪府吹田市で練習した。その後、宿舎で兵庫大会の映像を見て、市尼崎を分析する光里ナインは5日、大阪府吹田市で練習した。

午前中の練習では、相手右腕を想定した打撃練習を実施。マウンドよりも近い距離から投手に直球を投げさせ、同様にマシンを距離に置いてスライダーを打ち込んだ。鋭い当たりを連続した小日田大里は「樞越えはできる本々。相手は好投手だと聞いているので、さらに調子上げていきたい」と闘志を燃やした。昼食の後、休憩をはさんで相手校を分析。仲井崇基監督は「相手は投手を中心に守備が堅く、地元で勢いもある」とし、「(青森大会決勝の)大津戦を思い出させ、相手以上の気迫で押し返さないといけない。しっかり相手を知ることが重要」と呼び掛けた。ナインは兵庫大会の映像を見ながら、配球の癖を見つけて、たびたびメモを取っていた。

打撃投手 1年福山(輔) 「チームの力になる」



練習で打撃投手を務める市川中出身の福山優希=5日、大阪府豊中市豊島高グラウンド

1年ながら打撃投手としてチームに帯同している右腕福山優希。八戸市立市川中出身で、中学時代は八戸東リトルシニアに所属していた。関西入り直前の7月30日に行われた、甲子園メンバーと1・2年の新チームとの紅白戦では、1・2年側の先発として登板。堂々たる投球で6回の失点と好投最速は100キロ台中盤と

した光里ナイン。リードオフマン伊藤優平は「左打者には重球が多い」と相手主戦の印象を語り、「グイッとクモーションは速くないので、走れるタイミングを見つけた」と盗塁のポイントを語った。主戦櫻井一樹は「番はききたい」と初戦を見据えた。は高めに深くと長打を打たれると相手打線と対戦する際の注意点を挙げ、「しっかりコースを突いて、内野ゴロを打たせられればリズムに乗れる。野手がいがり雰囲気や攻撃できるように、テンポよくトを語った。

⑮ 目黒海都(3年)=大阪・今津中出

甲子園だより

大阪府出身ですが毎日暑くて大変です。練習で疲れるので、ホテルではゆっくり寝るなどしてくつろいでいます。

物まねで和ませたい

大会場もあるので、風呂に入ったりリラックスしています。毎日の楽しみは朝、夜のご飯。日替わりのパスがおいしくて、食べ過ぎないように気を付けています。

甲子園に近い兵庫県代表が対戦校になり、地元の応援がすごいと思いますが、試合では、負けない勢いで声を出したいです。今まで伝令を任されたので、方が一チームの雰囲気が悪くなった得意の物まねで和ませたいです。